

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳未満男性及び40歳代女性)あります。本年の累積報告数は23例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(20歳代男性)あります。症状は発熱・発疹・血小板減少・血清蛋白の低下です。推定感染地域は国外(ベトナム)です。本年の累積報告数は5例となっています。これまでに京都市内で報告されているデング熱は、すべて海外の流行地で感染し帰国後に発症する輸入症例です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、症状は発熱、咳、菌血症です。感染経路は不明です。本年の累積報告数は61例となっています。
京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
○高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が5例(20歳代男性1例, 30歳代男性2例, 20歳代女性2例)あり、本年の累積報告数は39例となっています。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告が1例(30歳代男性)あり、本年の累積報告数は7例です。届出基準等については、下記のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「薬剤耐性アシネトバクター感染症 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-140912-4.html>
- 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は1.62(68例)で、今年で最も高い値を示し、全国の平均を大きく上回る状況が続いています。

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

- 京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は0.07(5例)で、まだ少ないものの38週以降連続して報告されています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 4例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性なし
【1月以降の累積報告数 273例(肺結核 142例, その他結核 61例, 潜在性結核感染者 70例)うち喀痰塗抹陽性 67例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 23例】
- 四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 61例】
- 五類:梅毒5例(無症候及び早期顕症)【1月以降の累積報告数 39例】
- 五類:薬剤耐性アシネトバクター感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

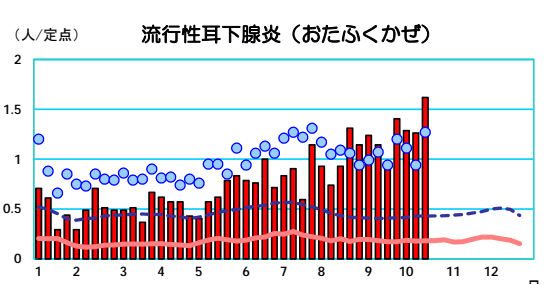
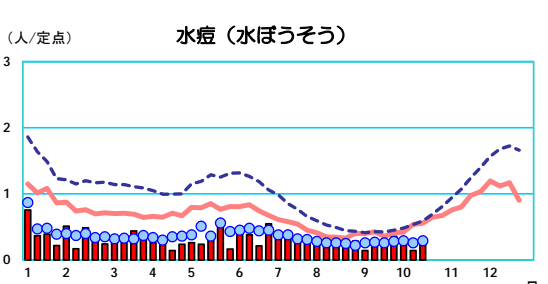
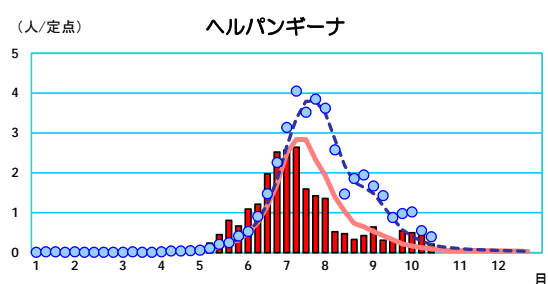
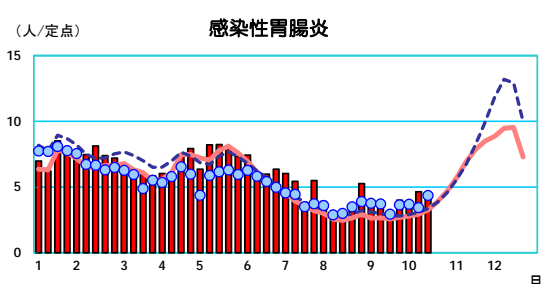
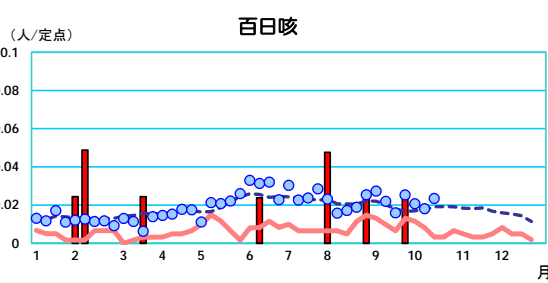
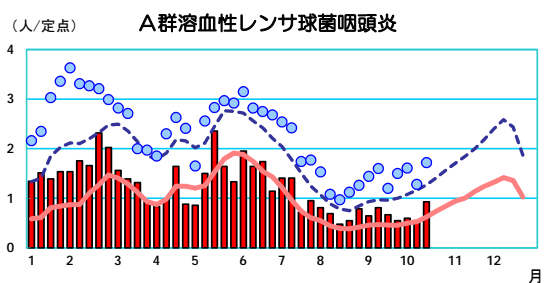
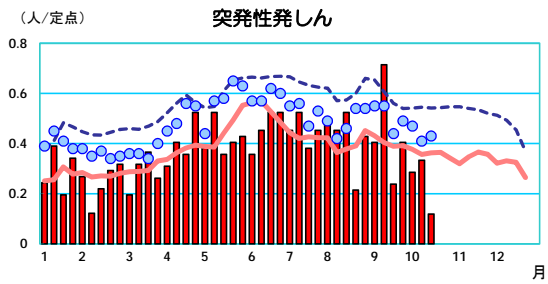
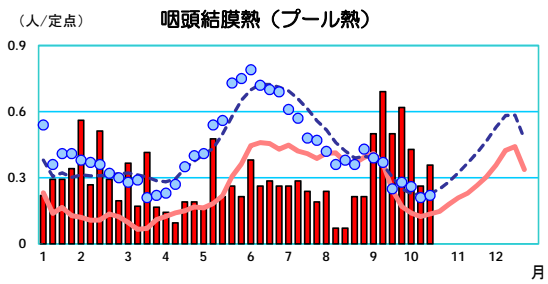
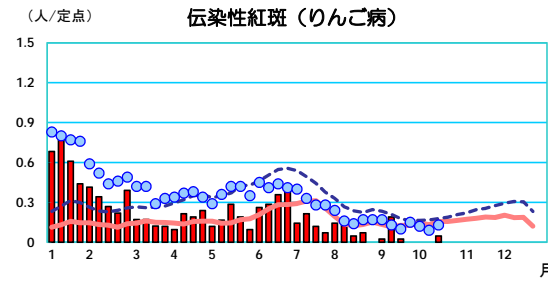
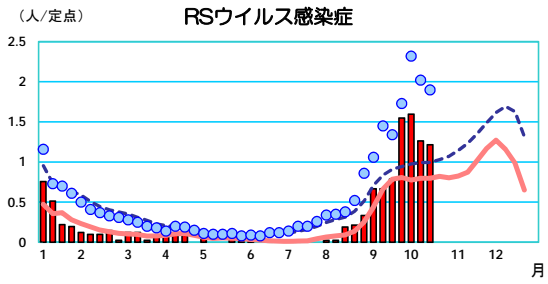
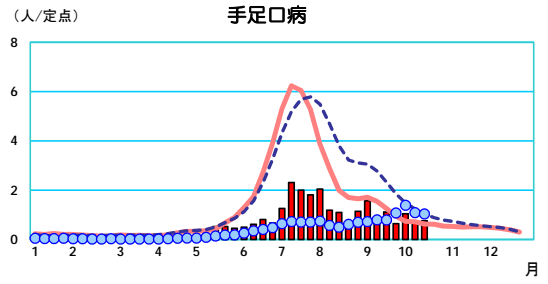
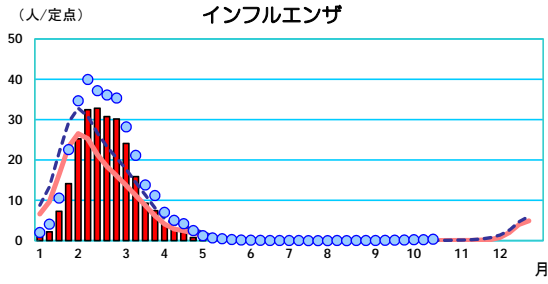
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.07	5
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.19	176
	② 流行性耳下腺炎	1.62	68
	③ RSウイルス感染症	1.21	51
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	39
	⑤ 手足口病	0.76	32
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年10月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第42週(10月17日～10月23日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市の発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は0.07(5例)で、まだ少ないものの38週以降連続して報告されています(図1)。過去5年間の報告の推移を見ると、例年定点当たり報告数が流行入りの「1」を超えた後、1～2週間後に注意報レベルの「10」、さらに1～2週間後に警報レベルとされる「30」へと急激に増えています(図2)。また、流行入りから3～6週後にピークを迎え、その定点あたりの報告数は、ほぼ毎年警報レベル「30」を超えています(表1)。

症状及び予防

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられます。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。

予防は手洗いとうがい基本です。インフルエンザの予防接種も一定の予防効果が得られます。今シーズンの予防接種は医療機関ですでに始まっています(有料)。予防効果が現れるまでに接種から約2週間かかりますので、早めに接種しましょう。詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

京都市では子どもの感染症に関する情報を毎月1日に発行しています。11月はインフルエンザ予防を紹介しています。下記URLを御参照ください。

「京都市子どもの感染症」

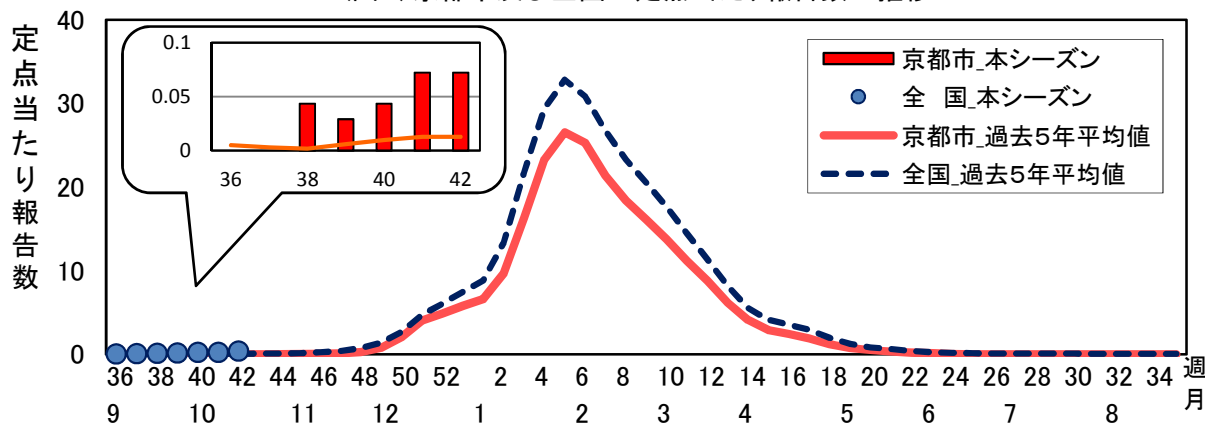
○ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

また、高齢者のインフルエンザ予防接種については一部助成があります。京都市情報館に掲載しています(下記URLを御参照ください)。

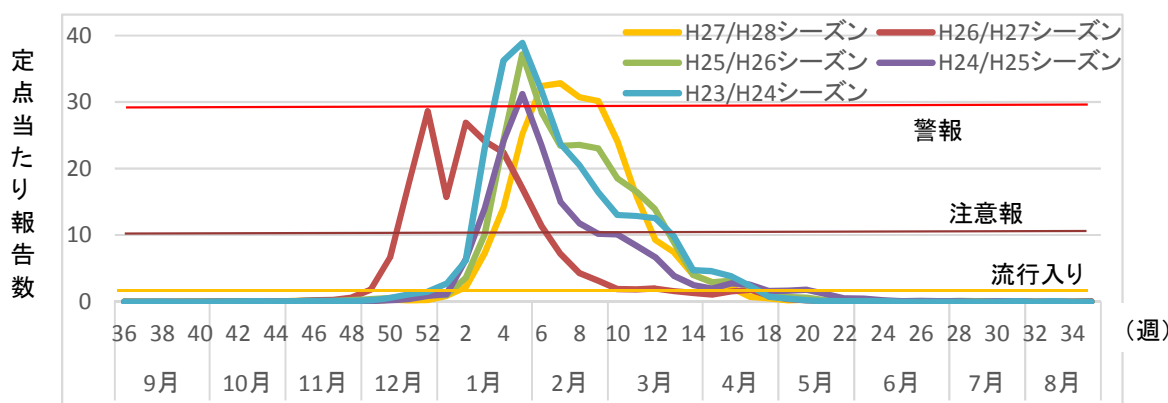
「高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ」

○ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000109807.html>

(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)過去5シーズンの京都市の定点当たり報告数の推移



(表1)過去5シーズンの定点当たり報告数1.00超の週からピーク週までの期間

シーズン	H23/H24	H24/H25	H25/H26	H26/H27	H27/H28
1.00超の週	第51週	第1週	第52週	第49週	第2週
ピークの週	第5週	第5週	第5週	第52週	第7週
ピーク時の定点当たり報告数	38.89	31.22	37.19	28.63	32.82
1.00超 ～ ピークの期間	6週間	4週間	5週間	3週間	5週間

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第42週

疾病,行政区別報告数

平成28年10月17日～平成28年10月23日

データ入手日:平成28年10月26日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細 菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	3	-	7	6	2	1	-	-	-	-	1	-	-						
左京	-	5	-	2	38	-	1	1	1	-	1	2	-	-						
中京	-	9	-	-	8	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	5	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	11	3	5	1	1	6	-	1	-	1	9	-	2						
下京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	2	-	14	2	-	-	-	-	-	8	-	-						
右京	2	8	5	7	27	3	4	-	-	-	3	11	-	2						
伏見	2	2	4	8	33	2	15	1	2	-	3	13	-	-						
西京	-	8	-	8	25	-	3	-	1	-	1	22	-	-						
京都市計	5	51	15	39	176	11	32	2	5	-	9	68	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細 菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	0.25	0.25	1.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	1.00	-	2.33	2.00	0.67	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-						
左京	-	1.25	-	0.50	9.50	-	0.25	0.25	0.25	-	0.25	0.50	-	-						
中京	-	3.00	-	-	2.67	0.33	0.33	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.50	-	-	8.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	2.75	0.75	1.25	0.25	0.25	1.50	-	0.25	-	0.25	2.25	-	2.00						
下京	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	0.67	-	4.67	0.67	-	-	-	-	-	2.67	-	-						
右京	0.25	1.60	1.00	1.40	5.40	0.60	0.80	-	-	-	0.60	2.20	-	2.00						
伏見	0.18	0.29	0.57	1.14	4.71	0.29	2.14	0.14	0.29	-	0.43	1.86	-	-						
西京	-	1.60	-	1.60	5.00	-	0.60	-	0.20	-	0.20	4.40	-	-						
京都市計	0.07	1.21	0.36	0.93	4.19	0.26	0.76	0.05	0.12	-	0.21	1.62	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第42週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年10月17日～平成28年10月23日

データ入手日:平成28年10月26日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	
RSウイルス感染症	年齢3	51	7	10	26	5	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		15	-	2	4	2	-	3	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	-	1	3	-	5	5	6	4	4	5	2	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		176	1	10	30	19	12	25	8	5	15	2	7	15	8	19	-	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	2	2	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		32	-	2	11	2	5	5	4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		5	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		9	-	1	4	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		68	-	-	3	1	11	7	11	7	4	1	8	11	-	4	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.07	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	0.01	0.01	-	0.01	-	-	-	0.01	-	
RSウイルス感染症	年齢3	1.21	0.17	0.24	0.62	0.12	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.36	-	0.05	0.10	0.05	-	0.07	0.02	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.93	-	0.02	0.07	-	0.12	0.12	0.14	0.10	0.10	0.12	0.05	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.19	0.02	0.24	0.71	0.45	0.29	0.60	0.19	0.12	0.36	0.05	0.17	0.36	0.19	0.45	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.26	-	0.05	0.05	-	0.07	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.76	-	0.05	0.26	0.05	0.12	0.12	0.10	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.12	-	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.21	-	0.02	0.10	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.62	-	-	0.07	0.02	0.26	0.17	0.26	0.17	0.10	0.02	0.19	0.26	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第42週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年10月26日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	3	2	3	5	5
RSウイルス感染症		28	33	65	67	53	51
咽頭結膜熱		29	21	26	18	11	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34	28	23	25	23	39
感染性胃腸炎		143	123	168	148	195	176
水痘		12	12	15	12	6	11
手足口病		36	47	27	44	30	32
伝染性紅斑		8	1	-	-	-	2
突発性発しん		30	10	17	12	14	5
百日咳		-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ		13	14	23	21	19	9
流行性耳下腺炎		48	40	59	54	53	68
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	9	7	5	3	4
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	2	1	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		384	343	434	409	412	417

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	0.04	0.03	0.04	0.07	0.07
RSウイルス感染症		0.67	0.79	1.55	1.60	1.26	1.21
咽頭結膜熱		0.69	0.50	0.62	0.43	0.26	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	0.67	0.55	0.60	0.55	0.93
感染性胃腸炎		3.40	2.93	4.00	3.52	4.64	4.19
水痘		0.29	0.29	0.36	0.29	0.14	0.26
手足口病		0.86	1.12	0.64	1.05	0.71	0.76
伝染性紅斑		0.19	0.02	-	-	-	0.05
突発性発しん		0.71	0.24	0.40	0.29	0.33	0.12
百日咳		-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.31	0.33	0.55	0.50	0.45	0.21
流行性耳下腺炎		1.14	0.95	1.40	1.29	1.26	1.62
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.90	0.70	0.50	0.30	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	2.00	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		9.37	10.78	11.82	10.09	9.99	10.19

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。